

## ～146年間の歴史に感謝～小塩小学校校旗返納式

小塩小学校は、明治7年に創立して以来、146年間にわたり、地域の発展とともに歩み、本年度までに約4,200名が卒業し、これまで多くの有為な人材を輩出してきました。小塩地区の皆様の教育に寄せる熱い思いは、昔も今も変わらず、地域の学校として、子どもたちの成長のために教職員と一体となって学校を支え、輝かしい足跡を残してきました。



小塩の子どもたちは、地域の皆様から愛され、ふるさとの良さ、自分たちの良さを大きな自信に変え、人と人、人と地域のつながりを強くする「つながる力」、最後まであきらめないでがんばる「やりとげる力」、大きな夢や希望に向かって前向きに進もうとする「踏み出す力」、この3つの力を十分に身に付けています。これからも、ふるさとの良さ自分たちの良さを誇りに、身に付けた力を十分に発揮しながら、活躍されることと信じています。これまで学校を支えていただいたみなさまに深く感謝します。

これから、ふるさとの良さ自分たちの良さを誇りに、身に付けた力を十分に発揮しながら、活躍されることと信じています。これまで学校を支えていただいたみなさまに深く感謝します。

## ～新たな歩み～小塩小学校・御幸小学校統合式



▲小塩小学校からの児童12名（右側）が自己紹介を行い、児童会役員（左側）が歓迎の言葉を送りました。

4月6日、御幸小学校で小塩小学校と御幸小学校の統合式が行われました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、時間の短縮と規模を縮小しましたが、御幸小学校児童会役員の7名、うきは市長、教育長、教職員が、小塩小学校からの児童12名をあたたかく迎えました。校長は式辞の中で、「新型コロナウイルスで笑顔がきえています。地域の方に元気を届ける学校として、あいさつ、元気な歌声をみなさんが届けてください。そして、新しい仲間と新しい先生、新しい学校で頑張ってください。」と述べました。